

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

|       |                     |                 |                         |
|-------|---------------------|-----------------|-------------------------|
| 課題番号  | 19100003            | 研究期間            | 平成19年度～平成23年度           |
| 研究課題名 | 音環境理解研究からのロボット聴覚の構築 | 研究代表者<br>(所属・職) | 奥乃 博（京都大学・大学院情報学研究科・教授） |

【平成22年度 研究進捗評価結果】

| 評価  |    | 評価基準   |
|---|----|--|
| ○   | A+ | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる                 |
|   | A  | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる            |
|   | B  | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である                 |
|   | C  | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| <p>(意見等)</p> <p>多数の人の声を同時に認識できたという聖徳太子の聴覚を工学的に実現するという、極めて分かりやすいスローガンのもとに、高度な研究を推進している。国際的に多くの研究発表を行い、関連のオーガナイズセッションを継続的に遂行するなど、成果発表に関して極めて積極的である。特に、HARKというソフトウェア群を作成、実用化して公開していることは、本研究の目に見える成果として貴重である。また、共同研究者間の十分な連携による相乗効果が、研究成果の蓄積につながっていると思われる。研究代表者が先導してきたロボット聴覚という新規の研究を加速させるに十分な役割を本研究は担っており、このペースで研究を継続して頂きたい。</p> |    |  |